



ユーザーガイド

完全ワイヤレスイヤホン

TW-E3B

JA

目次

はじめに	4
取り扱いに関するご注意	5
本製品の特長	6
付属品・各部の名称	7
充電・電源	9
イヤホンの充電	9
充電ケースの充電	10
電源の入れ方	12
電源の切り方	13
バッテリー残量について	14
Bluetooth®接続	15
初回のペアリング	15
別の機器とのペアリング	17
ペアリング済みの機器との接続	20
装着	21
イヤホンの装着	21
イヤピースの交換	22
操作（音楽再生・通話）	23
音楽再生時の操作	23
通話時の操作	24
音声アシスタント機能の起動	25
専用アプリ	26
アプリ「Headphones Controller」について	26

アプリの設定 27

困ったときは **29**

最初にご確認ください 29

接続できない 30

電源が入らない 31

充電できない 32

操作や再生ができない 33

音が出ない 34

音が片方からしか出ない 35

音がよくない、音に違和感がある 36

音がひずむ、ノイズが出る、音が途切れる 37

片側のイヤホンだけを使用したい 38

リセット・初期化する 39

ファームウェアを更新する 42

サポート窓口一覧 43

資料 **44**

操作一覧 44

インジケータ表示・音声ガイド一覧 46

仕様 48

商標 50

はじめに

本説明について

本説明では、本製品をお使いになる方のために、接続や操作方法を説明しています。

- ・ 本説明では注意事項などを次のように分類しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

・ ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

・ お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

- ・ 本説明に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ 本説明に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ [検索用タグ]は、検索のためのキーワードです。「スタートアップガイド」から、「ユーザーガイド」へのリンクに使用しています。

取り扱いに関するご注意

同梱の「安全上のご注意」をお読みいただくとともに、次の点にご注意ください。

防水性能について

本製品の防水性能は次のとおりです。誤った取り扱いにより水の浸入で故障した場合は保証対象外となります。

・イヤホン

イヤホン本体は「IPX5」相当の防水性能です。あらゆる方向からの水の直接噴流から保護されています。（防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。）

・充電ケース

充電ケースおよび付属のUSB給電ケーブルは防水仕様ではありません。感電や故障を防ぐため、次の点にご注意ください。

- ・汗、雨水、海水などにぬらさないでください。
- ・イヤホンに付いた汗、雨水、海水などを、よく拭き取ってから、充電ケースに入れてください。

IPXについて

- ・IPXとは、JIS C 0920（IEC 60529の整合規格）「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」です。
- ・常温の真水や水道水での性能を保証する規定です。温水および海水などで同等の性能を有することを保証するものではありません。

充電機能について

本製品は、イヤホンと充電ケースそれぞれにリチウムイオン電池を内蔵しています。リチウムイオン電池は消耗品です。より長持ちさせるために、次の点にご注意ください。

- ・長期間使用しなかった場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- ・電池の持続時間が極端に短くなった場合は、電池の寿命です。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

本製品の特長

本製品は、携帯プレーヤーやスマートフォンなどのBluetooth機器と無線接続して使用する完全ワイヤレス型イヤホンです。

Bluetooth機器の音声を高音質再生

Qualcomm aptX™、AACコーデックに対応しています。

Qualcomm TrueWireless™ Stereo Plus (TWS+) 対応

TrueWireless Stereo Plusに対応したBluetooth機器と、より安定した接続を実現します。

LISTENING CARE（リスニングケア）機能

小さい音量でも豊かな音質を楽しめる、LISTENING CARE機能を搭載しています。小さなボリュームの時ほど低域と高域が聴こえにくくなる人間の聴感特性や、リスニング環境における聴こえ方の違いに着目し、音量に合わせて、音のバランスが最適になるように補正します。自然で聴きやすい音を再現することで、過度な音量による耳の負担を防止します。

スマートフォン対応

本製品を接続したままで、通話や音声アシスタントを起動できます。

専用スマートフォンアプリ「Headphones Controller」

Headphones Controllerで、より詳細な設定ができます。

専用ボイスプロンプト（TW-E3B 志摩リンオリジナルカラーモデル）

イヤホンの状態を専用の音声（ボイスプロンプト）でお知らせします。

同梱の「スタートアップガイド」をご覧ください。

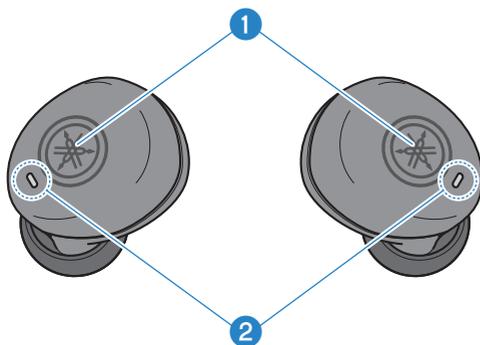
関連リンク

- ・「音声アシスタント機能の起動」（25ページ）
- ・「アプリ「Headphones Controller」について」（26ページ）
- ・「アプリの設定」（27ページ）

付属品・各部の名称

付属品がすべてそろっていることを確認してください。

イヤホン



- ① 機能キー
- ② インジケータ

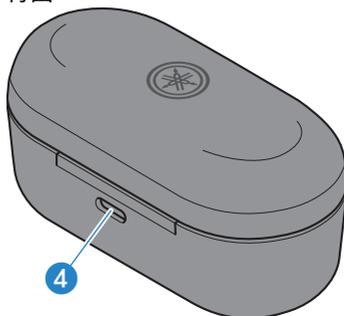
充電ケース

前面



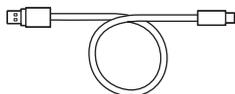
- ③ 充電インジケータ
- ④ 充電用端子

背面



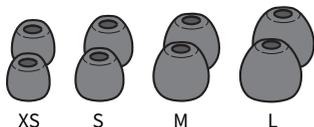
はじめに > 付属品・各部の名称

USB給電ケーブル (30cm/タイプA→タイプC)



イヤピース (XS、S、M、L) 各1セット

* Mサイズは本体に装着済みです。



XS

S

M

L

スタートアップガイド /安全上のご注意

お知らせ

- イヤホンはマイクを内蔵しています。
- 充電ケースは、イヤホンを充電するためのバッテリーを搭載しています。

充電・電源

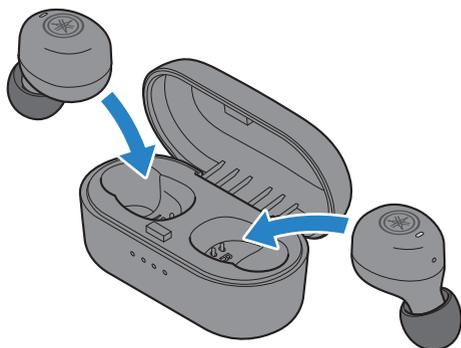
イヤホンの充電

使用する前に、イヤホンを充電ケースに入れ、イヤホンを充電します。



注意

- 充電ケースは防水仕様ではありません。イヤホンに付いた汗、雨水、海水などを、よく拭き取ってから、充電ケースに入れてください。
- 充電は、5～40℃の温度範囲内で行ってください。



1 充電ケースのフタを開ける。

2 イヤホンを充電ケースに入れる。

充電中はイヤホンのインジケーターが赤色で点灯し、充電が完了すると消灯します。
充電時間は約2時間です。

お知らせ

- イヤホンを充電中に充電ケースのバッテリー残量が完全に無くなると、イヤホンの電源がオンになります。
- イヤホンを充電ケースに入れると、充電ケースのインジケーターがバッテリー残量を5秒間表示します。（充電ケース充電中を除く）
- 充電中はBluetooth接続や再生操作などはできません。

関連リンク

「資料」（44ページ）

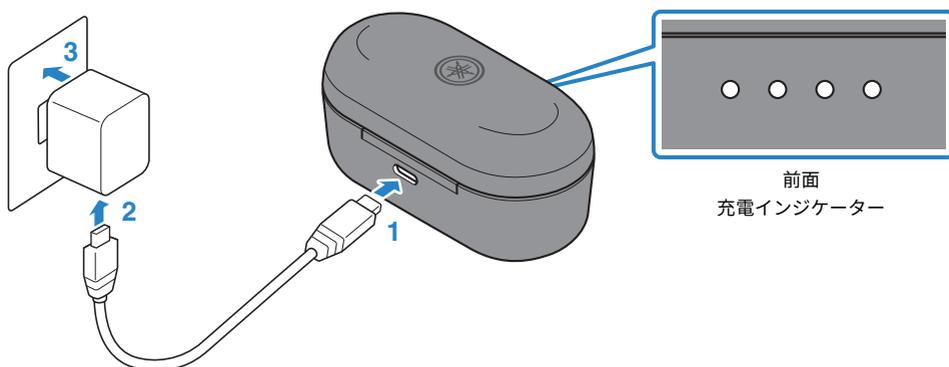
充電ケースの充電

付属のUSB給電ケーブルを使って、充電ケースを充電します。



注意

- 充電ケースは防水仕様ではありません。汗、雨水、海水などにぬらさないでください。
- 必ず付属のUSB給電ケーブルをお使いください。
- USB電源アダプターは、出力DC 5V (0.5 A以上) に対応した市販品をお使いください。
- 中国国内で充電する場合は、必ずCCC認証を取得したUSB電源アダプターをお使いください。
- 充電は、5～40℃の温度範囲内で行ってください。



- 1** USB給電ケーブル（タイプC側）を充電ケースに接続する。
- 2** USB給電ケーブル（タイプA側）をUSB電源アダプターに接続する。
- 3** USB電源アダプターをコンセントに接続する。

充電が開始されます。充電時間は約2時間です。

充電中は、充電ケースのインジケーターが次のように点灯します。

バッテリー残量	インジケーター
100 %	
75%～100 %	
50%～75 %	
25%～50 %	
0%～25 %	

: 点灯

: 点滅

: 消灯

お知らせ

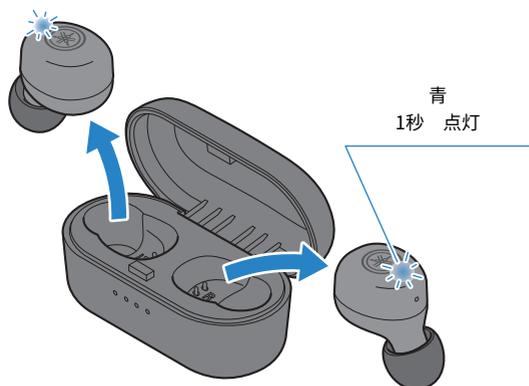
- 充電ケースを充電しながら、イヤホンの充電もできます。
- USB電源アダプターの代わりに、パソコンのUSB端子でも充電できます。
- イヤホンを充電ケースに入れると、充電ケースのインジケーターがバッテリー残量を5秒間表示します。（充電ケース充電中を除く）

電源の入れ方

イヤホンの電源をオンにします。

1 イヤホンを充電ケースから取り出す。

インジケーターが次のように表示され、電源がオンになります。



お知らせ

- イヤホンが充電ケースから取り出されている場合や、充電ケースから取り出してもイヤホンの電源がオンにならない場合は、イヤホン（L、R）それぞれの機能キーをインジケーターが青く点灯するまで押し続けてください。
- イヤホンのバッテリーの残量が少ない場合は、電源をオンにしたとき、インジケーターが赤色で3回点滅します。その場合はイヤホンを充電してください。

関連リンク

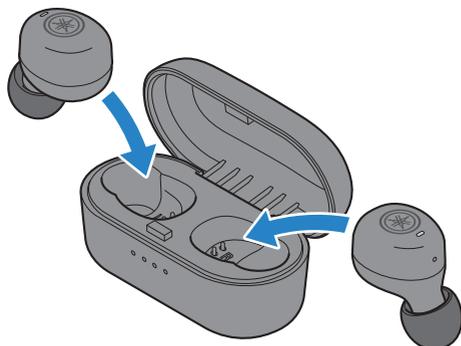
「バッテリー残量について」 (14ページ)

電源の切り方

イヤホンの電源をオフにします。

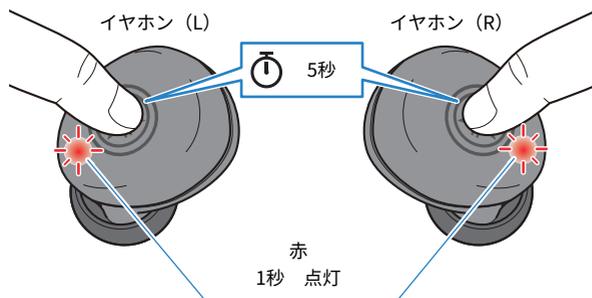
1 イヤホンを充電ケースに入れる。

イヤホンの電源がオフになり、充電状態になります。



お知らせ

- 充電ケースに入れずに電源オフする場合は、イヤホン (L、R) それぞれの機能キーをインジケータが赤く点灯するまで押し続けてください。イヤホンから「Power Off (パワー・オフ)」の音声ガイドが流れます。



- 充電ケースのバッテリー残量が無い場合、イヤホンを充電ケースに入れても電源はオフになりません。その場合は、それぞれの機能キーを押して電源をオフにしてください。

バッテリー残量について

電源をオンにしたとき、イヤホンのバッテリー残量を音声とインジケータでお知らせします。

• **音声：**

- ・ Battery High (バッテリー・ハイ) : 残量多
- ・ Battery Medium (バッテリー・ミディアム) : 残量中
- ・ Battery Low (バッテリー・ロー) : 残量少

• **インジケータ (イヤホン本体)：**

- ・ 点滅3回 (赤) : 残量少

お知らせ

充電ケースのバッテリー残量は、次の場合に確認できます。

- 充電ケースを充電中
- 充電ケースにイヤホンを入れた直後 (充電ケース充電中を除く)

関連リンク

「充電ケースの充電」 (10ページ)

Bluetooth®接続

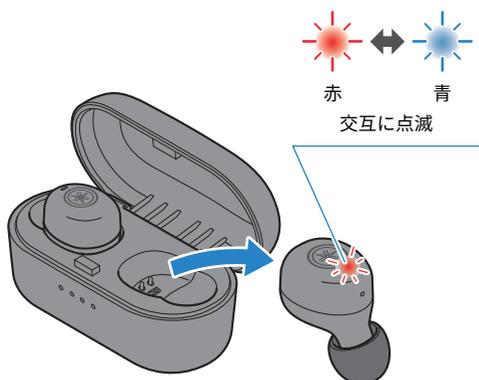
初回のペアリング

本製品を初めてお使いになる場合は、次の手順でBluetooth機器（スマートフォンなど）とペアリング（機器の登録）をしてください。

[検索用タグ]#Q02 Pairing

1 イヤホン（R）を充電ケースから取り出す。

インジケータが次の図のように表示され、ペアリング待ち状態となります。イヤホン（L）はまだ取り出さないでください。

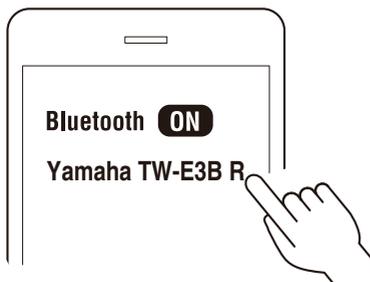


2 Bluetooth機器のBluetooth設定をオンにする。

接続可能なBluetooth機器のリストが表示されます。

3 Bluetooth機器のリストから本製品を選ぶ。

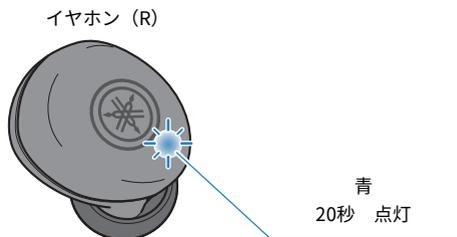
パスキーの入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。



接続が完了すると、イヤホン（R）のインジケータが次のように表示されます。イヤホンから「Pairing Successful（ペアリング・サクセスフル）」の音声ガイドが流れます。

お知らせ

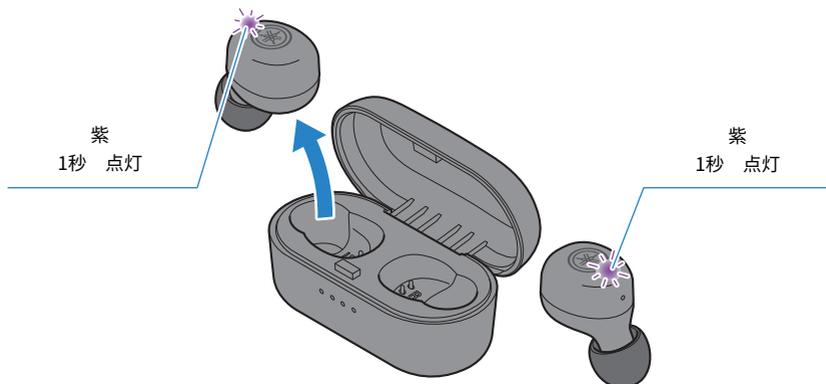
TW-E3B 志摩リンオリジナルカラーモデルでは、「Yamaha TW-E3BY R」と表示されます。



4 イヤホン (L) を取り出す。

インジケータが紫色で1秒間点灯すると、使用できる状態となります。

Bluetooth機器にイヤホン (L) とペアリングするメッセージが表示されたら、メッセージに従ってペアリングしてください。Bluetooth機器によっては、片方のイヤホンが「Headset」と表示される場合があります。



お知らせ

- ・本製品のペアリング待ち状態は、約2分経過すると自動的に終了します。もう一度ペアリングする場合や、接続に失敗した場合は、イヤホンを充電ケースに戻し、手順1からやり直してください。
- ・Bluetooth機器の設定画面では、片方のイヤホンが「未接続」と表示される場合があります。両方のイヤホンから音声が届いていれば問題ありません。
- ・Qualcomm TrueWireless™ Stereo Plus (TWS+)に対応しているBluetooth機器では、両方のイヤホンが「接続」状態になります。

関連リンク

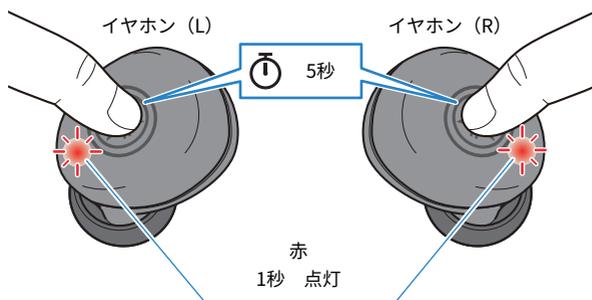
- ・「別の機器とのペアリング」 (17ページ)
- ・「ペアリング済みの機器との接続」 (20ページ)
- ・「アプリ「Headphones Controller」について」 (26ページ)

別の機器とのペアリング

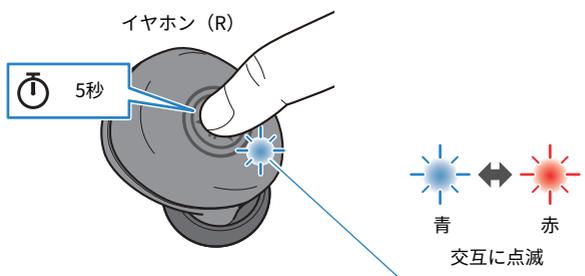
別のBluetooth機器とペアリングしたり、ペアリングをやり直したりするときは、次の手順で操作します。イヤホン（L、R）両方の電源を一旦オフにしてから操作するのがポイントです。

[検索用タグ]#Q02 Pairing

- 1 イヤホン（L、R）が電源オンの状態で、それぞれの機能キーをインジケータが赤く点灯するまで押し続ける。**
電源がオフになります。



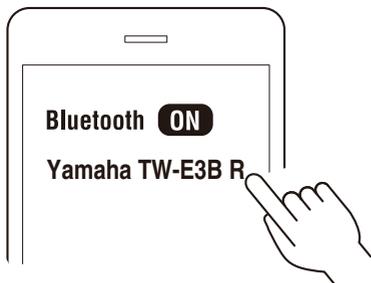
- 2 イヤホン（R）の機能キーをインジケータが次のように表示されるまで押し続ける。**
イヤホン（R）から「Pairing（ペアリング）」の音声ガイドが流れ、ペアリング待ち状態になります。



- 3 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。**
接続可能なBluetooth機器のリストが表示されます。

4 Bluetooth機器側のリストから本製品を選ぶ。

パスキーの入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

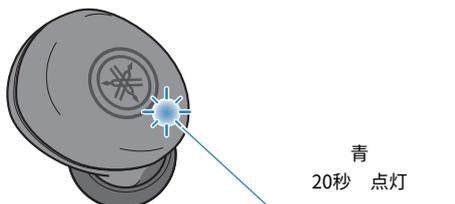


接続が完了すると、イヤホンから「Pairing Successful (ペアリング・サクセスフル)」の音声ガイドが流れます。イヤホンのインジケーターが次のように表示されます。

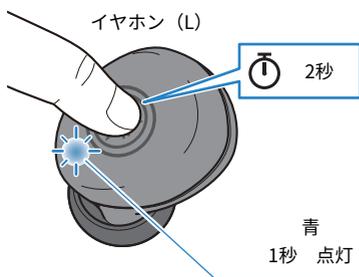
お知らせ

TW-E3B 志摩リンオリジナルカラーモデルでは、「Yamaha TW-E3BY R」と表示されます。

イヤホン (R)



5 イヤホン (L) の機能キーをインジケーターが青く点灯するまで、約2秒間押す。



その後、インジケーターが紫色で1秒間点灯すると、使用できる状態となります。Bluetooth機器にイヤホン (L) とペアリングするメッセージが表示されたら、メッセージに従ってペアリングしてください。Bluetooth機器によっては、片方のイヤホンが「Headset」と表示される場合があります。

お知らせ

- 本製品のペアリング待ち状態は、約2分経過すると自動的に終了します。もう一度ペアリングする場合は、最初の手順からやり直してください。
- 本製品は最大3台のBluetooth機器を登録できます。最大数を超えてペアリングした場合は、接続履歴の最も古い機器の情報が削除されます。
- 本製品はマルチポイント接続（複数のBluetooth機器と同時に接続する）には対応していません。

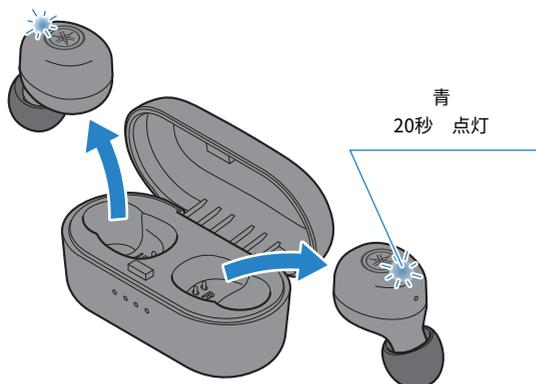
関連リンク

- 「初回のペアリング」 (15ページ)
- 「ペアリング済みの機器との接続」 (20ページ)
- 「アプリ「Headphones Controller」について」 (26ページ)

ペアリング済みの機器との接続

ペアリング済みのBluetooth機器と接続します。

イヤホンを充電ケースから取り出すと、電源がオンになり、最後に接続したBluetooth機器と自動的に接続します。接続が完了すると、イヤホンから「Connected（コネクテッド）」の音声ガイドが流れ、次のように表示します。



接続できない場合は、イヤホンは接続/ペアリング待ち状態になります。Bluetooth機器からイヤホンに接続してください。

お知らせ

- 本製品のバッテリー残量に応じて、イヤホン（L）またはイヤホン（R）のいずれかが親機となり、Bluetooth機器と接続します。Bluetooth機器のリストには、次のように表示されます。
 - ・イヤホン（L）：Yamaha TW-E3B L
 - ・イヤホン（R）：Yamaha TW-E3B R
- Bluetooth機器によっては、片方のイヤホンが「Headset」と表示される場合があります。
- 本製品はマルチポイント接続（複数のBluetooth機器と同時に接続する）には対応していません。

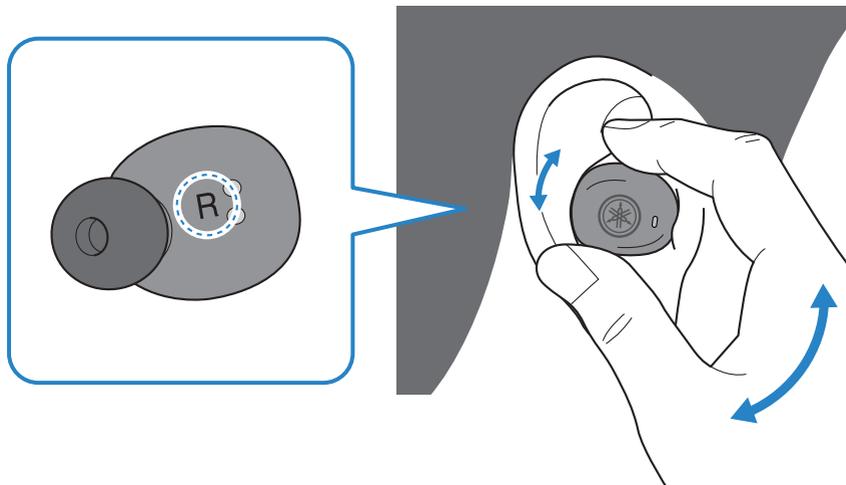
関連リンク

- 「初回のペアリング」（15ページ）
- 「別の機器とのペアリング」（17ページ）

装着

イヤホンの装着

イヤホンのL（左）、R（右）マークを確認し、左右を間違えないように装着します。装着後、耳にフィットするようにイヤホンを動かして調整してください。

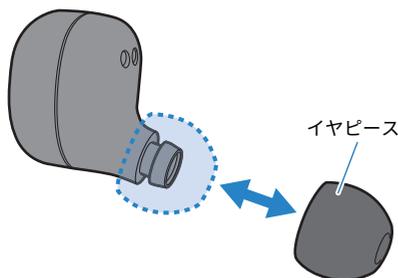


関連リンク

「イヤピースの交換」 (22ページ)

イヤピースの交換

自分に合ったサイズのイヤピースに交換します。イヤホン装着したとき、音楽を再生していない状態で、周囲の音が一番小さく聞こえるイヤピースを選択してください。



お知らせ

4種類のサイズのイヤピースを付属しています。工場出荷時には、Mサイズのイヤピースが装着されています。



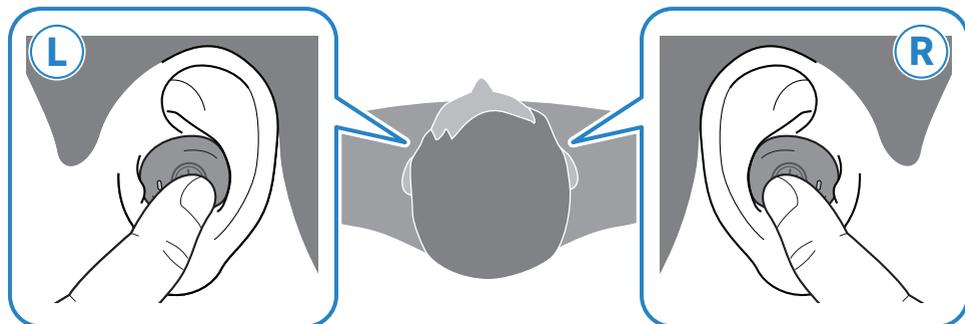
注意

- 壊れたイヤピースを使用したり、イヤピースを取り付けずに装着したりしないでください。耳を傷つける恐れがあります。
- イヤピースは確実に取り付けてください。イヤピースが外れて耳の中に残り、耳を傷つける恐れがあります。イヤピースが耳の中に残ってしまった場合は、医師にご相談ください。
- 誤飲防止のため、取り外したイヤピースはお子様の手の届かないところに保管してください。

操作（音楽再生・通話）

音楽再生時の操作

再生中、機能キーで次のような操作ができます。



音量の操作

- 音量アップ
イヤホン（R）の機能キーを2回続けて押す。
- 音量ダウン
イヤホン（L）の機能キーを2回続けて押す。

再生の操作

- 一時停止/再開
イヤホン（L）または（R）の機能キーを押す。
 - 次の曲に進む
イヤホン（R）の機能キーをビープ音が鳴るまで押し続ける。（約2秒間）
ビープ音が鳴ったら、キーから指を離してください。
 - 曲の先頭に戻る（曲の途中の場合）/前の曲に戻る（曲の先頭の場合）
イヤホン（L）の機能キーをビープ音が鳴るまで押し続ける。（約2秒間）
ビープ音が鳴ったら、キーから指を離してください。
- 使用するBluetooth機器やアプリにより、動作が異なる場合があります。

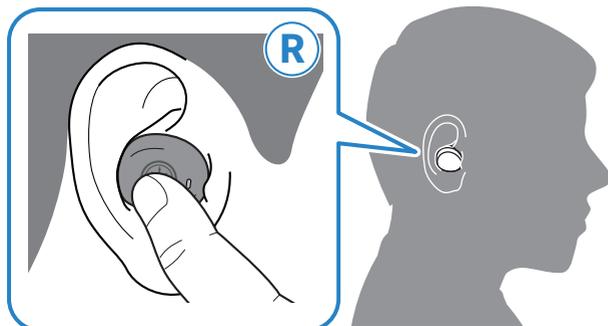
お知らせ

スマートフォンなど、音量調節機能がある機器に接続している場合は、機器側でも音量を調整できます。

- 曲を選択して再生する場合は、接続機器側で操作してください。

通話時の操作

スマートフォンなどに接続している場合、本製品で通話できます。次のように操作してください。



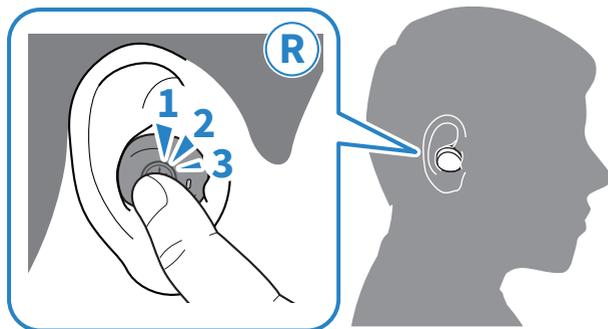
- 電話を受ける
着信中に、イヤホン（R）の機能キーを押す。
- 電話を切る
通話中に、イヤホン（R）の機能キーを押す。
- 通話を拒否する
着信中にイヤホン（R）の機能キーを2秒以上押し続ける。
ピープ音が鳴ったら、キーから指を離してください。
- 音量アップ
通話中に、イヤホン（R）の機能キーを2回続けて押す。
- 音量ダウン
通話中に、イヤホン（L）の機能キーを2回続けて押す。

お知らせ

着信時は、再生中の音楽は一時停止します。通話を終了するか、拒否すると、自動的に再生を再開します。

音声アシスタント機能の起動

本製品から「Siri」や「Googleアシスタント」などの音声アシスタントを呼び出します。音声アシスタント機能に対応したBluetooth機器と接続している場合に、ご利用になれます。



- 1 イヤホン（R）の機能キーを3回続けて押す。**
音声アシスタントが起動し、音声で操作できます。

お知らせ

- 音声アシスタント機能の動作は、Bluetooth機器により異なります。詳しくはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 音声アシスタントの聞き取りを終了する場合は、Bluetooth機器側で操作してください

専用アプリ

アプリ「Headphones Controller」について

スマートフォンアプリ「Headphones Controller」はヤマハのイヤホン/ヘッドホンを最適な音質でお楽しみいただくための専用アプリです。

[検索用タグ]#Q03 App



アプリを使うと、次のようなことができます。

- イヤホン/ヘッドホンの状態表示（電池の残量など）
- イヤホン/ヘッドホンの詳細設定

iOS用のアプリはApp Store、Android用のアプリはGoogle Playからインストールしてください。詳しくは、各ストアのアプリ情報をご覧ください。

アプリの設定

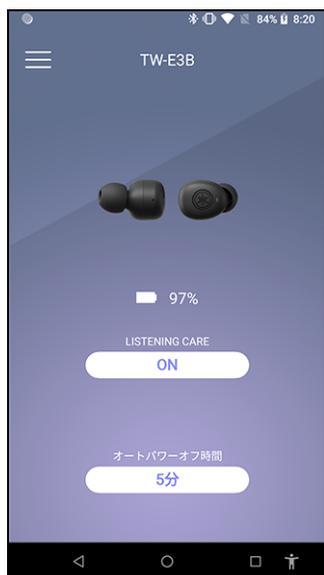
Headphones Controllerアプリで設定や確認ができる項目を説明します。

[検索用タグ]#Q03 App

お知らせ

アプリの画面や項目は、製品によって異なります。

メイン画面



• LISTENING CARE（リスニングケア）

LISTENING CARE（リスニングケア）を有効にすると、再生する音量に合わせて適切な音質に自動的に調整します。小さな音量に設定しても、不足する帯域の音が補正され、豊かな音質で再生します。

設定値

- ON（初期設定）：LISTENING CARE有効
- OFF：LISTENING CARE無効

専用アプリ > アプリの設定

- ・ オートパワーオフ時間
Bluetooth接続が解除されてから、電源がオフになるまでの時間を設定します。

設定値

- ・ OFF
- ・ 5分（初期設定）
- ・ 30分
- ・ 1時間
- ・ 3時間

メニュー画面



- ・ アップデートを確認
新しいファームウェアがリリースされているか確認し、更新できます。
- ・ ユーザーガイド
ユーザーガイドにアクセスします。
- ・ Google Analytics
Google Analyticsに関する情報を表示します。

困ったときは

最初にご確認ください

ご使用中に本製品が正常に動作しなくなった場合は、まず、次のようにしてください。

[検索用タグ]#Q01 Troubleshooting

- **イヤホンを充電ケースに入れた後、10秒以上経過してから、イヤホン（R）、イヤホン（L）の順に取り出してください。**
- **本製品を十分に充電してください。**
 - ・「イヤホンの充電」（9ページ）
 - ・「充電ケースの充電」（10ページ）
- **本製品のファームウェアを最新にしてください。**
 - ・「ファームウェアを更新する」（42ページ）
- **お困りの内容に応じて、次を確認してください。**
 - ・「接続できない」（30ページ）
 - ・「電源が入らない」（31ページ）
 - ・「充電できない」（32ページ）
 - ・「操作や再生ができない」（33ページ）
 - ・「音が出ない」（34ページ）
 - ・「音が片方からしか出ない」（35ページ）
 - ・「音がよくない、音に違和感がある」（36ページ）
 - ・「音がひずむ、ノイズが出る、音が途切れる」（37ページ）
 - ・「片側のイヤホンだけを使用したい」（38ページ）
 - ・「リセット・初期化する」（39ページ）

接続できない

● **ペアリングが正しくできていない。**

Bluetooth機器側の接続リストに本製品の情報が残っている場合は、その情報を削除してから、再度ペアリングを行ってください。

- ・「別の機器とのペアリング」（17ページ）

● **本製品に登録されたBluetooth機器の情報が削除された。**

既定の台数以上のBluetooth機器とペアリングすると、接続履歴の最も古い機器の情報が削除されます。再度、ペアリングを行ってください。

- ・「別の機器とのペアリング」（17ページ）

● **本製品が別のBluetooth機器と接続している。**

Bluetooth機器側で本製品との接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。

● **本製品とBluetooth機器の距離が離れすぎている。**

本製品とBluetooth機器を近づけてください。

● **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

電源が入らない

● **バッテリーの残量が少ない。**

充電してください。

- ・「イヤホンの充電」 (9ページ)

● **イヤホンを充電中に、充電ケースのバッテリー残量が無くなった。**

イヤホン (L、R) それぞれの機能キーをインジケーターが青く点灯するまで押し続け、手動で電源を入れてください。また、充電ケースを充電してください。

- ・「電源の入れ方」 (12ページ)

● **一時的に動作が不安定になった。**

イヤホンをリセットしてください。

- ・「リセット・初期化する」 (39ページ)

充電できない

- **パソコンで充電している場合、パソコンの電源が入っていない。**
パソコンの電源をオンにして、充電してください。
- **付属のUSB給電ケーブル以外を使用している。**
付属のUSB給電ケーブルで、正しく充電できることを確認してください。

操作や再生ができない

● **イヤホンを充電している。**

充電中は使用できません。充電終了後、使用してください。

● **バッテリー残量が無い。**

イヤホンを充電してください。

- ・「イヤホンの充電」(9ページ)
- ・「充電ケースの充電」(10ページ)

● **一時的に動作が不安定になった。**

イヤホンをリセットしてください。

- ・「リセット・初期化する」(39ページ)

音が出ない

● **イヤホンとBluetooth機器が接続されていない。**

ペアリングしてください。

- ・「初回のペアリング」(15ページ)
- ・「別の機器とのペアリング」(17ページ)

● **音量が小さい。**

音量を上げてください。

- ・「音楽再生時の操作」(23ページ)

● **再生が停止されている。**

再生を開始してください。

- ・「音楽再生時の操作」(23ページ)

音が片方からしか出ない

- **電波の状況が悪いため、接続が不安定になっている。**

無線アクセスポイントなどの無線機器や、電子レンジなどの電磁波が発生するものから離れてください。両方のイヤホンを充電ケースに入れて、もう一度取り出してください。
- **片側からのみ出力されるスマートフォンアプリを使用している。**

他のアプリで音声を再生して、両方から音声が出力されるか確認してください。
- **片方の電源がオンになっていない。**

電源をオンにしてください。
・「電源の入れ方」 (12ページ)
- **Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。**

Bluetooth機器の接続情報を削除してから、イヤホンとBluetooth機器のペアリングを行ってください。
・「別の機器とのペアリング」 (17ページ)
- **イヤホンが正しく機能していない。**

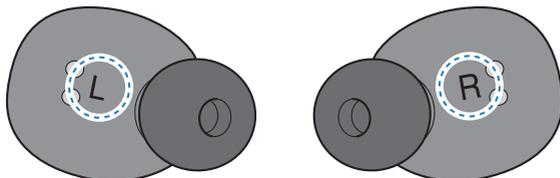
初期化を行ってから、ペアリングすることで解決できる場合があります。
・「リセット・初期化する」 (39ページ)
・「初回のペアリング」 (15ページ)

困ったときは>音がよくない、音に違和感がある

音がよくない、音に違和感がある

● 左右 (L/R) 逆に装着している。

イヤホンの左 (L)、右 (R) を確認し、正しく装着してください。



・「イヤホンの装着」(21ページ)

● イヤピースのサイズが合っていない。

ご自身の耳に合ったイヤピースに交換してください。

・「イヤピースの交換」(22ページ)

困ったときは > 音がひずむ、ノイズが出る、音が途切れる

音がひずむ、ノイズが出る、音が途切れる

● 電波の状況が悪いため、接続が不安定になっている。

無線アクセスポイントなどの無線機器や、電子レンジなどの電磁波が発生するものから離れてください。

接続したBluetooth機器を、できるだけ本製品に近づけてください。

無線ネットワーク接続機能がある機器の場合、無線ネットワークの電波が通信を妨害している場合があります。その場合はBluetooth機器の無線ネットワーク機能を無効にしてください。

● 一時的に動作が不安定になった。

イヤホンのリセットしてください。

- ・「リセット・初期化する」(39ページ)

片側のイヤホンだけを使用したい

ご使用になりたい側のイヤホンをBluetooth機器とペアリングしてお使いください。

ただし、次の点にご注意ください。

- ステレオ音声をモノラル音声に変換して再生する機能はありません。
- イヤホンの操作キーはL側、R側それぞれ機能が異なります。例えば音量は、アップまたはダウン、どちらかの操作しかできない状態になります。片側のイヤホンだけご使用になる場合、再生や通話の操作はBluetooth機器側で行ってください。

リセット・初期化する

リセット（再起動）または初期化するには、次の手順で操作してください。

[検索用タグ]#Q04 Reset

リセットする

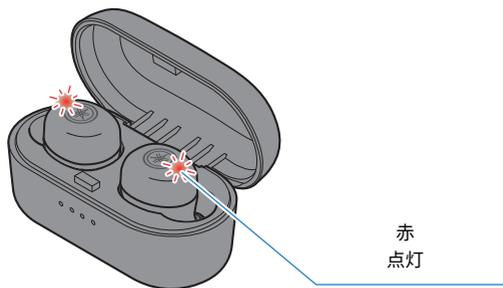
イヤホン（L、R）をリセット（再起動）します。機器登録（ペアリング）情報などは保持されません。

- 1 イヤホン（L、R）を充電ケースに入れる。
- 2 10秒以上経過した後、イヤホン（R）を充電ケースから取り出す。
- 3 続いてイヤホン（L）を充電ケースから取り出す。

初期化する

イヤホンの設定をすべて初期状態に戻します。機器登録（ペアリング）情報もすべて削除されます。

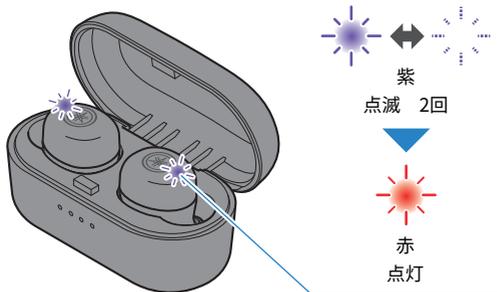
- 1 イヤホン（L、R）を充電ケースに入れる。
インジケーターが赤色で点灯します。（充電が完了すると消灯します）



困ったときは>リセット・初期化する

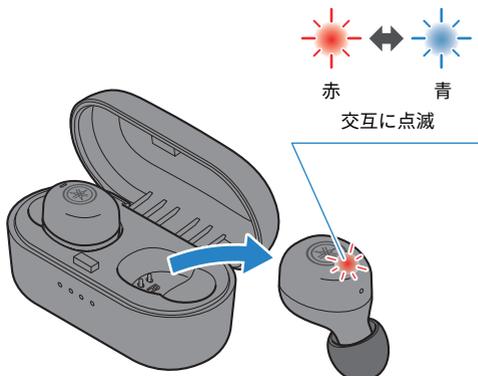
2 イヤホン（L、R）両方の機能キーをインジケーターが紫色に点滅するまで、約7秒間押す。

インジケーターが紫色で2回点滅した後、赤色の点灯に戻ります。



3 イヤホン（R）を充電ケースから取り出す。

インジケーターが次のように表示されることをご確認ください。



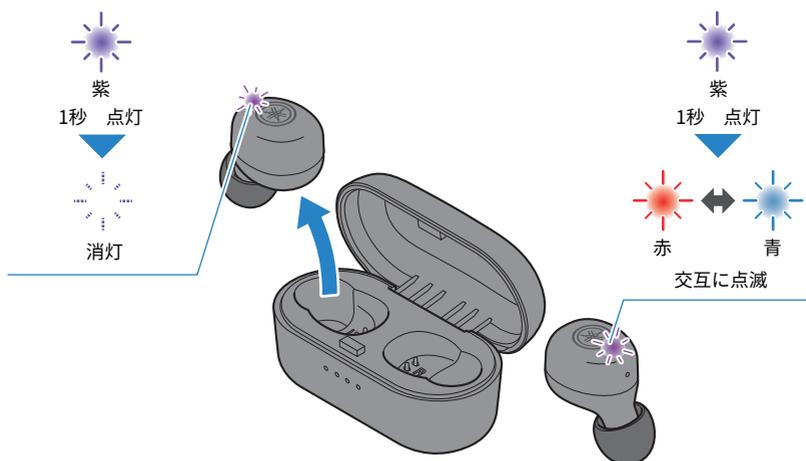
続いて、8秒以内に手順4の操作を行ってください。

困ったときは>リセット・初期化する

4 イヤホン (L) を充電ケースから取り出す。

インジケーターが紫色で1秒間点灯したことを確認後、次の手順に進みます。

紫色の1秒間の点灯がされない場合は、イヤホン (L) を取り出す操作が遅れた可能性があります。その場合は、手順1からやり直してください。



5 イヤホン (L, R) を充電ケースに入れる。

これで初期化は完了です。

関連リンク

「初回のペアリング」 (15ページ)

ファームウェアを更新する

アプリ「Headphones Controller」を使って、本製品のファームウェアを更新できます。ファームウェアの更新により、機能の追加や不具合の改善が行われます。更新の詳しい内容は、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。

ご注意

- ・本製品とBluetooth機器間の通信を安定させるため、電波環境が良い場所でファームウェアを更新してください。ファームウェアの更新中は、次のことをしないでください。
 - ・イヤホンを充電ケースに入れる
 - ・本製品の電源をオフにする
 - ・Headphones Controllerを終了したり、別のアプリを操作したりする
 - ・スマートフォンの電源をオフにする
 - ・スマートフォンで本製品との接続を解除する

1 Headphones Controllerアプリのメイン画面から、メニューを開く。

2 「アップデートを確認」をタップする。

新しいファームウェアがリリースされている場合、更新の案内が表示されます。画面の案内に従ってインストールしてください。

関連リンク

- ・「アプリ「Headphones Controller」について」 (26ページ)
- ・「アプリの設定」 (27ページ)

サポート窓口一覧

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

日本国内のお客様

- お買い上げ店、または同梱の「スタートアップガイド」掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

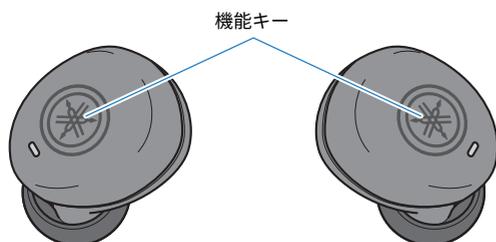
日本以外の地域のお客様

- お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。
<https://manual.yamaha.com/av/support/>

資料

操作一覧

本製品の主な操作は次のとおりです。



電源

- 電源オン
イヤホン（LとR）の機能キー（2秒間長押し）
- 電源オフ
イヤホン（LとR）の機能キー（5秒間長押し）

音量

- 音量+
イヤホン（R）の機能キー（短く2回続けて押す）
- 音量-
イヤホン（L）の機能キー（短く2回続けて押す）

音楽再生

- 一時停止/再生
イヤホン（LまたはR）の機能キー
 - 次の曲に進む
イヤホン（R）の機能キー（ビープ音が鳴るまで長押し）
 - 曲の先頭/前の曲に戻る
イヤホン（L）の機能キー（ビープ音が鳴るまで長押し）
- 使用するBluetooth機器やアプリにより、動作が異なる場合があります。

通話

- 電話を受ける
イヤホン (R) の機能キー
- 電話を切る
イヤホン (R) の機能キー
- 通話を拒否する
イヤホン (R) の機能キー (2秒以上長押し)

その他

- ペアリング開始
電源オフ状態で、イヤホン (LとR) の機能キーを長押し (R: 5秒間、L: 2秒間)
- 音声アシスタント起動
イヤホン (R) の機能キー (短く3回続けて押す)

インジケーター表示・音声ガイド一覧

本製品のインジケーター表示、音声ガイドは次のとおりです。

イヤホンのインジケーター表示

- 電源オン
1秒点灯（青色）後に消灯
- バッテリー残量通知
点滅（赤色）3回：残量少
- Bluetooth機器とのペアリング待ち受け状態
点滅（赤色と青色が交互）
- ペアリング済みのBluetooth機器を検索中
消灯
- Bluetooth機器接続完了
点灯（青色/約20秒間）後に消灯
- 電源オフ
1秒点灯（赤色）後に消灯
- イヤホン（L）とイヤホン（R）の接続完了
1秒点灯（紫色）後に消灯

充電中の表示

- 充電中
点灯（赤色）
- 充電完了
消灯

充電ケースのインジケーター表示

充電ケースを電源に接続していない場合

- イヤホンを充電ケースに入れた直後5秒間
充電ケースのバッテリー残量を表示後に消灯

充電ケースを電源に接続している場合

- 充電ケースのバッテリー残量を表示

音声ガイド

- Battery High (バッテリー・ハイ)
バッテリーの残量は十分
- Battery Medium (バッテリー・ミディアム)
バッテリーの残量は中程度
- Battery Low (バッテリー・ロー)
バッテリーの残量が残り少ない
- Power Off (パワー・オフ)
電源オフ
- Pairing (ペアリング)
ペアリング (機器登録) 開始
- Pairing Successful (ペアリング・サクセスフル)
ペアリング成功/接続完了
- Pairing Failed (ペアリング・フェイルド)
ペアリング失敗
- Connected (コネクテッド)
Bluetooth機器との接続完了
- Disconnected (ディスコネクテッド)
Bluetooth機器との接続を解除

お知らせ

TW-E3B 志摩リンオリジナルカラーモデルの音声ガイドについては、同梱の「スタートアップガイド」をご覧ください。

関連リンク

- 「イヤホンの充電」 (9ページ)
- 「充電ケースの充電」 (10ページ)
- 「電源の入れ方」 (12ページ)
- 「電源の切り方」 (13ページ)
- 「バッテリー残量について」 (14ページ)
- 「初回のペアリング」 (15ページ)
- 「別の機器とのペアリング」 (17ページ)
- 「ペアリング済みの機器との接続」 (20ページ)

仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

- 型式
密閉ダイナミック型
- ドライバー口径
6.0 mm
- 再生周波数帯域
20～20,000 Hz
- Bluetoothバージョン
5.0
- 対応プロファイル
A2DP、AVRCP、HFP、HSP
- 対応コーデック
SBC, AAC, Qualcomm®aptX™
- 対応コンテンツ保護（日本国内用のみ）
SCMS-T
- 無線出力
Class 1
- 最大通信距離
10 m（妨害の無いとき）
- ペ어링登録可能台数
3

充電電池

- 内蔵充電電池
リチウムイオン電池
- 充電時間（フル充電）
イヤホン：約2時間
充電ケース：約2時間
- 電池持続時間（連続音声再生時間）
約6時間
充電ケースによるイヤホン充電回数（充電ケースがフル充電の場合）
約3回
- 使用温度（充電時）
5～40 °C
充電はこの温度環境下で行ってください。

資料 > 仕様

総合

- 防水
IPX 5 (イヤホン本体)
- 質量
5.0 g (片方)

商標

本説明に使用する商標は、次のとおりです。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Qualcomm aptXは、Qualcomm Technologies, Inc.および/またはその子会社の製品です。

Qualcommは、米国およびその他の国で登録されたQualcomm Incorporatedの商標です。aptXは、米国およびその他の国で登録されたQualcomm Technologies International, Ltd.の商標です。

Android™、Google Play™

Android、Google Play は、Google LLCの商標または登録商標です。

App StoreSM

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Siri®

Siriは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation

2021年11月発行 AMOD-D0

AV20-0111